

津田かおり

VOL 10 2022 年春号 通信



2022 年

3月議会での一般質問

- 1 新型コロナウイルス対策
- 2 子育て支援の充実
 - ・ 難聴児支援・低出生体重児支援
- 3 人口減少対策
 - ・ 関係人口創出事業
 - ・ Uターン就職促進事業
 - ・ ウェルビーイングを考えた行政



今冬は、積雪による交通障害や除雪等の苦労は、比較的少なく春を迎えることができました。しかし新型コロナの第6波は、オミクロン株の急拡大により、特に子供達や保護者の皆様が、大変な苦労を強いられました。また新たな変異株の拡大も懸念されています。今回の議会（一般質問予算特別委員会）では、速やかに実施・実現できた内容もありました。今後も大変な時だからこそ、市民の皆様が安心・安全な生活を送れますよう、尽力してまいります！

福祉の困り事をまるごと受け止めます！

4月から、福祉総合相談室（仮称）を設置。福祉の支援ニーズが複雑化する中で、介護・障がい・子育て・生活困窮など、様々な相談に対して分野を超えて対応し「困り事」を包括的に支援する体制の構築を目指します。

新生児聴覚検査が助成されます！

4月から、新生児聴覚検査に対する助成制度が導入されることになりました。受診率の向上を図り、先天性の聴覚障害の早期発見、早期療育につなげます。

道路損傷がLINEで通報できます！

3月1日より、福井市LINE公式アカウントから道路などの損傷通報を市民の皆様より直接、通報いただけるようになりました。

--- 詳細は次項へ ---

市民の皆様からの地域に対するご要望・ご相談に、速やかに対応させていただきます！



〒910-0065
福井市八ツ島町 15-1-4



電話・FAX 0776-92-0686



E-mail kaoritsuda2018@yahoo.co.jp



LINEでも
お気軽に！



ホームページ
ご覧ください



福祉の困り事をまるごと受け止めます！

本年4月より

2020年9月定例議会、2021年6月議会で要望・提案してきた「断らない相談支援」が、国の「重層的支援体制整備事業」に対応し、福祉に対する「困り事」の包括的な支援が実現しました。

福祉に関する様々な「困り事」



子育て



介護



障がい



生活困窮

窓口が違って、個別の「困り事」には、それぞれ対応できましたが・・・

しかし・・・ たとえばこんな「困り事」

8050 問題



80代の親が50代の
ひきこもりの子を世話

ダブルケア



育児と介護を
同時に行う

ひとり親の困窮



子どもを抱え
不安定な働き方

複雑化・各分野をまたぐ「困り事」の場合は、窓口をたらいまわしになることがあり、解決に時間がかかったり、解決の糸口もみつけれないことがありました。

市役所にある生活困窮者の経済的自立を支援する総合窓口「自立サポートセンターよりそい」を地域福祉課に移し「福祉総合相談室」（仮称）を設置。現在の職員8人に加え、社会福祉士などの専門職と、地域づくりコーディネーターとして市社協職員を配置します。これにより、相談室は「担当窓口で対応できない」「相談先がわからない」など分野をまたぐ場合や複雑化した内容の「困り事」が受け付けられることとなります。

新生児聴覚検査が助成されます！

市上限 5,600 円
本年4月から

新生児聴覚検査は、原則的に保護者の任意で費用も全額自己負担になっています。市の検査実施率は20年度は94.3%、21年度10月末時点は96.5%となっています。「赤ちゃんのその後の人生」に大きな影響を及ぼすため、少しでも早くわかれば、適切な療育などにつなげられるため、市は検査率100%を目指します。



4月から、新生児聴覚検査に対する助成制度（上限5,600円）が導入されることになりました。受診率の向上を図り、先天性の聴覚障害の早期発見・早期療育につなげます。

人口減少対策として・・・

関係人口の創出事業

関係人口とは、地域の人々と多様にかかわる人のことをで、例えば、福井が好きで福井の物品を購入してくれる人、ふるさと納税を行ってくれる人、そういう人たちを増やしていくことで、長期的に人口減少を抑えていくことにつながっていきます。

本年2月に「福井で活動する魅力的な人」を首都圏の若者などに紹介するガイドブック「福井のP i N」が発行されました。この本を読み、実際に福井に足を運び人と人のつながりが深まることで、関係人口の輪が大きく広がっていくことが期待できます。



「福井のP i N」

提言しました！

人口減少対策としてこれからは「ウェルビーイング」を主題におくことが重要です。

福井市でも人口減少がはじまっています。福井県は、幸福度ランキング総合1位、一人当たりの所得や食料自給率などの数値を比べて、客観的には幸せそうに見えますが、主観的には幸せを感じられないのが現実、これからは、若者が大学を卒業しUターンして働きたくなる環境、女性が腰掛ではなく使命感を持ち働ける環境、子供を産み育てやすい環境を整えていくことが重要です。そのためには、ウェルビーイングを軸にした施策が必要です。

ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念。

何かと比較して得られる「相対的な幸福」ではなく様々な困難にぶつかっても乗り越え、自分らしくイキイキと生きられる「絶対的な幸福」を感じられる状態と言えるでしょう。



議会一般質問
QRコード



道路損傷をLINEで通報できます！

令和2年8月定例会の提案・要望が実現しました！

3月1日から、LINEによる道路などの損傷通報が可能になりました。これまでは、道路やガードレール、カーブミラーなどの損傷箇所の通報を電話やメールなどで受け付けていましたが、LINEを使うことにより、被害を迅速・明確に把握できるようになります。市は「安全な道路環境のためにも、スマートフォンから気軽に通報してほしい」と協力を呼び掛けています。

このほかAI自動サービスに、子育てや福祉などの分野を追加されました。従来のゴミの出し方や新型コロナ関連等のご利用もお気軽に！



予算特別委員会での質問

教育環境の整備

- ・小中学校施設のバリアフリー化
- ・配慮が必要となる児童生徒の学習環境
- ・学校給食の単独調理校の整備

女性活躍の推進

- ・女性活躍応援事業の取組と効果
- ・子育てファミリー応援企業
- ・保育所や託児所的な施設を併設している企業は？

3月16日

予算特別委員会動画



成年後見制度

- ・制度を利用したほうがよい方の人数は？
- ・新たな「成年後見制度利用促進体制整備事業」
- ・制度の普及啓発の取組

成年後見制度とは・・・

認知症や知的障害などにより、判断能力が不十分と判断された人が、不利益を被らないよう支援する制度

ごみの減量とリサイクル率の向上

- ・「プラスチック資源循環促進法（4月施行）」の取組
- ・雑がみの分別、リサイクルの現状と推進
- ・ごみの分別・リサイクルの普及啓発の取組

3月17日

予算特別委員会動画



61 大宮2丁目道路陥没補修

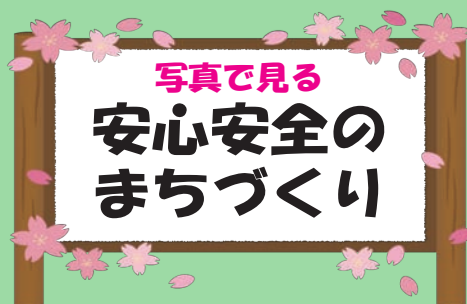


62 市営住宅立矢団地側溝補修

降雨時に流れてきたゴミや落ち葉などが、排水の妨げになるため、住民が簡易的にアミを取り付けていましたが、専用の丈夫なものを取り付けました、



63 市営住宅立矢団地壁面補修



QRコードを読込むと
Google Mapが表示されます。
地図中の「赤い番号」を
タップすると現場の写真
が表示されます。

